



# 学生海外遠征記

## 北米ロボットツアーに行ってきました

機械制御工学専攻1年 菅田 唯仁 電子制御工学科5年 高岸 涼平

昨年11月に開催された高専ロボコン2015全国大会において、奈良高専ロボコンプロジェクトの「大和」が優勝しました。その成果が認められ、2014年から高専機構により実施されている「北米ロボットツアー」に参加する機会を頂きました。今回私たちは、ニューヨーク大学クイーンズ校、コロンビア大学、MIT、ハーバード大学で実演を行いました。

最先端技術がある一方で、私たちでも理解できた技術や、製作できそうなロボットもあり、私たちの知識・技術力が世界に通用するという自信を持つことができました。

最後となりましたが、このような大変貴重な機会を頂きありがとうございます。支えてくださった先生、職員、ロボコンメンバー、関係者の方々に深くお礼申し上げます。



「大和」の説明や質疑応答など実演中は全て英語でしたが、実演を重ねるにつれてある程度会話を成立させることができました。また、現地の学生と技術的な交流を深めることもできました。特にMITでは、私たちの知識をはるかに超え



訪問大学関係者にロボットの説明

## 国際数学チャレンジ(SIMC2016)出場

物質化学工学科3年 山下 貴央 情報工学科2年 三宅 達也  
情報工学科2年 神崎 優 物質化学工学科2年 鄭 從真

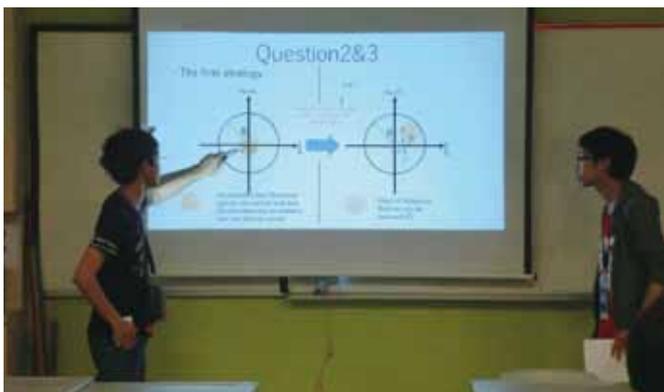
学生チャレンジプロジェクト「数学LOVE!」メンバーが、平成28年5月23日から5月27日までシンガポールのNUS High Schoolで開催された第5回シンガポール国際数学チャレンジ(SIMC2016)に出場しました。このチャレンジは世界30の国・地域から62チームが参加するという大きな大会で、数理モデルに関連した問題を解いて競い合う団体戦です。残念ながら入賞には至りませんでしたが、メンバーは大いに健闘しました。なお、この大会への出場は、第26回日本数学コンクールにおける団体戦で大賞を受賞したため推薦をいただき実現しました。



マーライオンの前で

大会に向けて、英語科の先生の協力をいただきながら、シンガポールからの短期留学生との交流や英語でのレポート作成・プレゼンの練習を継続して行いました。大会が迫る中、直前の1か月間は活動と疲労がピークに達していました。大会では、初日に公開された問題に対したった3日間で英語での解答レポート(10ページ以内)とプレゼン資料(スライド30枚ほどになりました)を仕上げなければならない過酷な状況を、引率教員や他のグループとの会話が制限された中、チーム4人だけの力で乗り越えました。

以下は各学生の感想です。山下：「めったにできない経験ができてよかった。財産と思う。卒業研究の前の段階の今に経験できてよかった。」三宅：「優勝チームのプレゼンを見て自分たちとの差を痛感した。英語や専門科目のレポートにしっかり取り組むなど普段からできる努力をしようと思った。卒業研究のためにも良い経験となった。」神崎：「英語のレポートがうまく書けず他校の学生との交流における英会話もできなかったのが今後できるようになりたい。」鄭：「もっと数学力をつけてその他のコンテストにも参加し結果を残せるようになりたい。」



プレゼン風景

思うようにいかず「悔しさ」や「もどかしさ」の気持ちも入り混じった中での意欲ある前向きな感想を受け、彼らの成長を確信した次第です。今後も数学コンテスト参加等を軸に、「数学LOVE!」な学生を増やすとともに学生のチャレンジ精神を引き出し、彼らに新たな経験の機会を与えていきたいと思います。

